

令和2年度事業報告

【事業概要】

新型コロナウイルス感染の拡大により、今までとは全く違う体制の中で手探りでの事業運営となりました。例年だと多くの視察や講演依頼があるところですが、全くと言っていいほど無くなりました。それでも一部はZ o o mなどの機器を活用したオンラインでの視察や研修を取り入れて実施しました。

今年度末の会員数は1, 3 3 7名となり、コロナ禍にも関わらず右肩上がりを維持することが出来ました。粗入会率も全国平均の倍以上を維持しています。特に女性会員の増加には目を見張るものがあり、男女の比率は数年のうちにほぼ同数になるのではないかと予測しています。

3年間にわたり実施してきた厚生労働省の委託事業「きらりシルバー応援事業」が最終年度を終了し、結果報告を国に提出しました。後半はコロナに翻弄された事業展開でしたが、会員増強、退会抑制には効果が出たものと自負しております。今後は国内拠点センターへ本事業の取り組みを紹介してゆくのが大きな役割となります。

残念ながら年間事業実績は請負委任・派遣共に前年度を下回り、大幅な赤字決算となっています。新型コロナウイルス蔓延の影響が大きく影を落としています。

そんな中、やまゆりなどの独自事業はコロナ禍で休業した期間があったにも関わらず昨年同期を上回る実績を上げており、「コロナなんかに負けるものか、ピンチをチャンスに」という会員の頑張りが表れたものと考えています。

飲食店、買い物弱者双方を救おうと、テイクアウト商品の受け取り代行サービスを有償ボランティアで始めた「シルバーイーツ」は着実に市民の中に受け入れられ、少しずつ実績を伸ばしています。

一方、柏崎市・シルバー人材センター・越後交通（株）の三者で実施してきた路線バスを活用した「買い物支援バス」の運行は今年度末でその役割を終え、新年度には柏崎市・シルバー人材センター・タクシー事業者・地元スーパーと連携した買い物弱者支援事業「ふれ愛のりタクシー」の実証実験を開始します。

市から指定管理をうけているワークプラザ柏崎は新型コロナウイルスの影響を受け休館を余儀なくされた期間もあり減収となりましたが、空き部屋、空き時間を有効に活用し稼働率を上げる工夫と感染対策の徹底により利用者からは高い評価をいただいています。

農福連携を視野に入れた障がい者支援団体との連携事業「おいもプロジェクト」はその取り組みが評価されフードメッセにいがたの6次化大賞で見事入賞を果たしました。

1、登録会員（年度末） 1, 337人 （男715人 女622人）
男女比 男53.5% 女46.5%

2、事業実績

(1) 請負・委任 受注件数（新規）	8, 185件（4, 141）	昨年度比
(2) 請負・委任 就業延人員	77, 057人日	6.1%減
(3) 請負・委任 配分金合計額	270, 335, 842円	7.7%減
(4) 請負・委任 受託金額	345, 810, 372円	7.9%減
内 訳		構成比
公 共	86, 438, 007円	25.0%
民間企業	137, 654, 876円	39.8%
一般家庭	72, 715, 442円	21.0%
独自事業	10, 863, 300円	3.1%
介護保険	38, 138, 747円	11.0%
(5) 一般労働者派遣事業		
受注実件数	757件（うち新規112件）	昨年度比
契約金額	112, 478, 161円	13.7%減
(6) 請負・委任 職群別構成比		
管理的職業	0.0%	専門的技術的職業 0.0%
事務的職業	0.5%	販売の職業 2.9%
サービスの職業	40.4%	保安の職業 0.0%
農林漁業の職業	11.2%	生産工程の職業 1.8%
輸送機械運転の職業	0.0%	建設採掘の職業 0.3%
運搬清掃包装等の職業	42.8%	
(7) 請負・委任・派遣 年間就業率	74.6%	（昨年度 81.0%）
特別会員92名を除いた就業率	80.2%	
請負・委任のみ 年間就業率	63.0%	（昨年度 66.1%）

【部会報告】

広聴広報部会

令和2年6月17日の定時総会で確認された事業計画に基づき、今年度のテーマとして四項目を重点に掲げ、活動した結果を報告致します。

1、広報誌『シルバーだより柏崎』の編集発行

積極的に現場に出向き、会員の声が収集できる写真を多く取り入れ、出来るだけ見やすい工夫をして編集しました。

- ・第120号 令和2年9月15日発行（12頁） 祝・40周年
創立40周年を祝して、柏崎市長はじめ多くの方から寄稿してもらう。又、40年の歩みを3ページにわたり紹介。
- ・第121号 令和3年4月15日発行（8頁）
新型コロナの影響で各行事が中止となったため、ページ数を減らす。

2、メディアの活用(情報の収集及び発信)

『きらりシルバー応援事業』を柏崎市シルバーの役員・事務局・会員が一丸となって取組、遂行する為『シルバーだより柏崎』等による広報活動の実施。

主なものとしてポイントカード(会員証)のQ&Aを掲載し利用促進をPR、フレンドショップの活用、FMピッカラによる放送、漫画パンフレットの作成等

3、周知活動(イベントチラシの作成)

フレンドショップの活用・拡大、各種行事の御案内。

4、新企画として、『私のじまん』『表紙の写真』の募集を開始する。

企画推進部会

新型コロナウイルス禍に翻弄された1年であり、年明けとともに計画し、催行できる状態にあった行事を含め、ほとんど中止せざるを得ない状況となりました。部会としての活動範囲が狭まる中で、取り組んできた内容について、次のとおり報告いたします。

1、会員研修会について

例年、定時総会後に開催される会員研修会の内容を、“安全就業と接遇について”とし、計画しましたが、総会が書面議決方法に大幅縮小されたため、中止となりました。

2、会員研修旅行について

隣接県で独自事業を行っているシルバー人材センターを見学する日帰り研修旅行が2年続けて好評でした。令和2年度は創立40周年記念となることから、「喜多方市シルバー人材センター独自事業見学と北会津さくらんぼ狩りの旅」として6月下旬に催行する予定でしたが、バス旅行は3密の最たるものであることから中止せざるを得なくなりました。

3、普及啓発活動について

- ・10月の促進月間としての「クリーン作戦」(清掃奉仕活動)は、屋外活動ということから実施しました。例年より40名程少ない参加人員でしたが、それでも187名という多くの会員の皆様から参加していただきました。
- ・例年、啓発活動の一環として3つのイベントに参加し、PR活動等を行ってきました。

今年にはコロナ禍の影響の中、唯一開催された「シニアじまん展」において、女性活躍部会員と一緒にパネルにおける仕事の説明、リーフレットの配布、アンケートに関わる活動などを行いました。

4、会員忘年会について

会員相互の親睦を図るとともに、出席される会員参加型で余興等を楽しんでもらう忘年会を考えていましたが、これも、飲食を伴う大人数での行事であることから中止せざるを得なくなりました。

5、趣味を楽しむサークル作りについて

趣味を通して会員相互の親睦を図ってもらうためのサークル作り立ち上げに向け、アンケート調査を行いました。結果、令和3年度に「ボウリング同好会」を立ち上げることに決定しました。31名の会員を以って発足しますが、本格的な活動はワクチンが行き渡り、終息状況を見てからとなります。更に多くの方からの参加をお待ちしています。

女性活躍部会

1、新型コロナウイルス感染症の影響により、下記のイベント実施の開催は見合わせました。

- ・就業の質の向上・拡大のための各種講習会
- ・料理講習会、手芸講習会

2、ふれあいサロン「やまゆり」に協力するため手芸の会参加者に呼びかけ、当時、品薄になりがちなマスクを作製し、販売しました。

3、企画推進部会と合同でシニア作品・じまん展（老人クラブと共催）でのシルバー人材センター展示コーナーの飾り付けを行いました。

来場者へのリーフレットとポケットティッシュの配布は中止とし、配置のみ行いました。

安全衛生部

令和2年度は「事故ゼロに向けて、現場事前確認と作業手順を全員で共有し、班内の意識統一を図る」をテーマとして、班長や安全担当会員だけでなく全会員が安全に対する高い意識を持つよう取り組みを行ってきました。

今年度の事故報告として、傷害事故3件、賠償事故5件、労災2件が発生しました。再三注意喚起を行い、安全パトロールを強化していますが、事故報告が後を絶ちません。近年は外作業のみならず清掃やヘルパー就業中の事故も増加傾向にあります。

機械除草、草取り、庭木作業をおこなっている全ての職群班へ安全パトロールを行い、取

り決め事項が遵守されているかどうか確認を行いました。年度を通して安全に対する高い取り組みが評価された班には安全マークを発行し、職群班長安全講習会の場で表彰を行いました。

主な活動内容は次の通りです。

- 1、安全目標の掲示、周知
- 2、安全掲示板の設置
- 3、シルバー5S運動の周知
- 4、職群班ごとに安全担当会員を選出
- 5、作業前朝礼時、声かけシートによる安全唱和の実施
- 6、安全チェックシートを活用し作業前点検実施
- 7、安全パトロール
- 8、安全就業達成証及び安全マークの発行
- 9、安全就業通信及び季節ごとの注意喚起文書の配布
- 10、安全就業シール配布
- 11、「作業中」と表示した看板を屋外作業班に配布
- 12、ヒヤリハット事案を募集
- 13、連合会主催の安全講習会へ参加（コロナウイルスのため中止）
- 14、機械除草取扱会員へ安全講習会の様子を動画配信
- 15、公園管理班、機械除草班に対する特別安全講習会の実施
- 16、「安全就業必携ハンドブック」の常時携帯と活用の徹底
- 17、運転作業を行う会員に対する運転診断及び交通安全講習会
- 18、刈払機取扱作業者に関する安全衛生教育の未受講者に取扱安全講習会を実施
- 19、家族への就業先明確化の徹底
- 20、事故等取扱基準（ペナルティ制度）の適用

このように多くの安全活動を実施し、安全への意識高揚に努めました。